

トピック(テーマ)		長野市篠ノ井地区	
ねらい		長野市篠ノ井地区は、昭和41年(1966)に長野市と合併した旧篠ノ井市である。街道や鉄道の分岐点として交通の要地であるばかりでなく、川柳將軍塚古墳があるなど古くから開け、横田河原の戦いや大塔合戦の舞台となったなど、歴史的にも重要な地域である篠ノ井地区の歴史を調べる。	
キーワード		塩崎 共和 川柳 東福寺 西寺尾 信里 布施高田 布施五明 瀬原田 御幣川 会 横田 小松原 岡田 石川 ニツ柳 正和 小森 杵淵 山布施 有旅 篠ノ井追分 横田河原の戦い 木曾義仲 大塔合戦 円福寺 長谷寺 康楽寺 どんど焼き 茶臼山 恐竜公園 川柳將軍塚古墳 石川条里 川中島合戦 南長野運動公園 典厩寺 宮入慶之助	
概要を知るためのツール	1	書名	篠ノ井の歴史と暮し
		著者名	大谷利一／著
		出版社	龍鳳書房
		出版年	1994.12
		内容紹介	「古墳文化の宝庫」(古代)、「合戦の主戦場篠ノ井」(中世)、「農村の構成と農民の努力」(江戸時代)、「鉄道の開通と篠ノ井町の発展」(近代)、「戦後の篠ノ井の発展と変遷」(現代)の5章に分けて、篠ノ井の歴史を記述している。
資料リスト	1	書名	長野市誌 第9巻
		著者名	長野市誌編さん委員会／編
		出版社	長野市
		出版年	2001.2
		内容紹介	長野市誌の旧市町村史編。「篠ノ井」「塩崎」「共和」「川柳」「東福寺」「西寺尾」「信里」が篠ノ井地区である。それぞれ「地区のあらまし」「遺跡と遺構」「神社と寺院」「村のようすと災害」「交通と産業の発展」「地区の文化」「現状」の7節に分けて記述している。なお「西寺尾」は松代町西寺尾も含んでいる。
	2	書名	塩崎村史
		著者名	柴田幸夫／編
		出版社	塩崎村史刊行会
		出版年	1971.10
	3	書名	篠ノ井追分
		著者名	山田昭雄／著
		出版社	信毎書籍印刷(印刷)
		出版年	2015.08
	4	書名	篠ノ井の風土と歴史：篠ノ井ボランティアガイドブック
		著者名	篠ノ井史跡等ボランティアガイド養成事業実行委員会／編
		出版社	篠ノ井史跡等ボランティアガイド養成事業実行委員会
出版年		2011.6	

		内容紹介	地区ごとに記述するとともに、人物伝、祭り、史資料、略年表を添えてまとめている。
	5	書名	篠ノ井地区文化財説明版ウォーキングガイド&マップ
		著者名	篠ノ井地区住民自治協議会／編 篠ノ井地区文化財説明版設置事業実行委員会／編
		出版社	篠ノ井地区文化財説明版設置事業実行委員会
		出版年	2012.3
		内容紹介	中央、塩崎、共和、川柳、東福寺・西寺尾、信里の7地区に分けて、史跡・文化財を説明し、それぞれ地図を添えている。
	6	書名	篠ノ井の民話と伝承
		著者名	篠ノ井の民話と伝承を語り継ぐ会／編
		出版社	篠ノ井地区住民自治協議会・篠ノ井史跡等ボランティアガイド会
		出版年	2015.12
		内容紹介	地区ごとに計132の民話・伝承を掲載している。
インターネット	1	サイト名	篠ノ井の風土と歴史 電子ブック
		URL	<a href="http://sites.shinonoi.org/top/o-zhirase/xiaonojingnofengtutolishidianzibukku">http://sites.shinonoi.org/top/o-zhirase/xiaonojingnofengtutolishidianzibukku</a>
		概要	篠ノ井の風土と歴史(電子ブック)と篠ノ井の民話と伝承紙芝居(DVD)を見ることができる。
	2	サイト名	長野県内図書館横断検索サービス「信州ブックサーチ」
		URL	<a href="https://www.library.pref.nagano.jp/licsxp-opac/shinshubooksearch.html">https://www.library.pref.nagano.jp/licsxp-opac/shinshubooksearch.html</a>
		概要	篠ノ井に関する資料の県内図書館の所蔵状況を調べることができる。
	3	サイト名	国立国会図書館サーチ
		URL	<a href="http://iss.ndl.go.jp/">http://iss.ndl.go.jp/</a>
		概要	篠ノ井に関する書籍・雑誌記事・論文などを検索でき、中には最寄りの公共図書館でデジタルデータを見ることができるものもある。
	4	サイト名	長野県市町村史誌等目次情報データベース
		URL	<a href="http://misuzu-mokuji.net/">http://misuzu-mokuji.net/</a>
		概要	篠ノ井に関する項目が市町村史誌等に載っているかを調べることができる。
コメント			近隣の図書館にない資料でも取り寄せて閲覧できるものもありますので、最寄りの図書館にお問い合わせみましょう。